

令和7年度全国学力・学習状況調査に係る 厚木市立小・中学校の調査結果について

小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。教育委員会では、今回の分析結果を踏まえ、教育施策の成果や課題等を把握・検証し、今後の教育施策に反映するとともに、各小・中学校において、校長のリーダーシップの下、各教員が指導内容・方法の改善を進める支援をしてまいります。

I 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童・生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年

小学校第6学年及び中学校第3学年

(3) 調査の内容

- ア 教科に関する調査 小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科
 - ※ 国語、算数・数学及び小学校理科は、冊子を用いた筆記方式で実施しました。
 - 中学校理科は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式（以下「CBT」という。）で実施しました。
 - ※ 平成30年度までは、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を分けて調査していましたが、平成31年度調査から一体的に問われることとなりました。
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ・ 児童・生徒に対する調査
（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
 - ※ 児童・生徒の活用する ICT 端末等を用いた CBT で実施しました。
 - ・ 学校に対する質問調査
（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）
 - ※ オンラインによる回答方式で実施しました。

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日

教科に関する調査（中学校理科以外）：令和7年4月17日（木）
生徒質問調査、中学校理科：令和7年4月14日（月）～17日（木）
児童質問調査：令和7年4月18日（金）～30日（水）

(6) 調査に参加した児童・生徒数

	国語	算数・数学	理科	児童・生徒質問
小学校	1,597 人	1,601 人	1,601 人	1,608 人
中学校	1,656 人	1,654 人	1,673 人	1,677 人

※ 令和7年5月1日現在 小学校第6学年在籍児童数 1,742 人

中学校第3学年在籍生徒数 1,884 人

(参考) 全国・県・市の公立学校の参加校数

	小学校	中学校
全国（公立）	18,313 校	9,311 校
神奈川県（公立）	848 校	419 校
厚木市	23 校	13 校

2 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童・生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童・生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要です。

また、平均正答数（※1）及び平均正答率（※2）については、各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意が必要です。

※1 平均正答数は、児童・生徒の正答数の平均の値です。

※2 平均正答率は、平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）です。

県及び市の値は、小数第1位を四捨五入した整数値で国から提供されています。